

新棟4月にも全面利用

拠点施設の生活棟は、2〜4人部屋が中心だった三つの旧棟を解体し、跡地に個室計46室（各約10平方メートル）を備えた鉄骨2階の3棟（計延べ約2150平方メートル）を新設。4〜6室ごとに共用のリビングやキッチン、浴室を設け、家庭的な空間を確保した。

屋内運動などに利用する多目的棟（鉄骨平屋約150平方メートル）▽入所者の自立を助ける訓練棟（木造平屋約110平方メートル）▽管理棟（鉄骨2階延べ約350平方メートル）の3棟も整備。総工費は約7億円で、福祉施

建て替え進む「旭川学園」



4月の利用開始を目指し、工事が進む旭川学園

知的障害児・者 46の個室整備

設の耐震化に伴う岡山市の補助金4億2千万円を活用した。

入所する49人（6〜43歳）は現在、旧棟の一部と内装工事を終えた新棟に仮住まいしている。新棟の全面利用が始まり次第、障害の特性や程度、年齢、性別に応じて10程度のグループに分かれて生活を始める。

出口隆一園長は「個々の障害を踏まえた実践的な支援を通じ、障害者の地域回帰に貢献したい」としている。

旭川学園は、旭川荘創立翌年の1957年、18歳未満の知的障害児施設として開設。現在は家庭や他施設への移行が難しい18歳以上も受け入れている。